

## ■ 名投手ゆかりの品、母校へ ■

# 村山実氏のユニホームやキャップ等を関西大へ寄贈 ～ 遺族の申し出により、関西大学博物館で収蔵へ ～

このたび関西大学では、関西大学体育会野球部 OB で、阪神タイガースの投手・監督として活躍した村山実氏（1936～1998）のゆかりの品であるユニホームやキャップなど、約 25 点が遺族から寄贈されました。

### 本件の ポイント

- ・ 関西大学野球部出身の名投手、村山実氏のユニホームやキャップ等が大学へ寄贈
- ・ 遺族の申し出によるもので、約 25 点を関西大学博物館で収蔵
- ・ 7 月 26 日（金）と 7 月 29 日（月）の 2 日間、寄贈品の一部を報道公開

村山氏は 1959 年商学部卒。2 年次生の時に全日本大学野球選手権大会で優勝し、関西六大学リーグの最優秀選手に 2 回選ばれるなど、大学野球部で活躍した後、大阪タイガース（現・阪神タイガース）に入団。「ザトベック投法」と称される全力投球で全国的な人気を得るとともに、エースとして 1962 年にタイガースをリーグ優勝に導き、最高殊勲選手に選ばれました。タイガースでは投手兼監督を務めるなど 1972 年の引退まで活躍した後に再度監督を務めています。

タイガース時代のユニホームやキャップ、沢村賞受賞記念の盾、防御率セ・リーグ新記録賞の記念盾、ベストナインの表彰状、1962 年のセ・リーグ優勝の写真パネル、引退試合の写真パネル、など約 25 点が、母校関西大学へ寄贈されました。その中には、関西大学時代の 1956 年に全日本大学選手権で優勝した時の記念写真パネルも含まれています。

25 日の贈呈時にはご遺族と芝井敬司理事長が会談。村山氏のご遺族は「故人の野球界での活躍の原点となり、縁の深い母校にゆかりの品を収蔵してもらえればと思いました」と本学に思い出の品を寄贈することに至った経緯と思いを語られました。

寄贈品は関西大学博物館で保管し、将来的には関西大学とプロ野球をテーマにした企画展示なども検討しています。



＜（左）タイガース時代のユニホーム  
（右）関西大学のユニホーム＞

\* 関西大学広報課では寄贈いただいた品々の一部を以下の通り報道公開します。撮影が可能ですので、よろしければ足をお運びください。

【撮影可能日】 7 月 26 日（金）13：30～17：00 および、7 月 29 日（月）9：00～17：00

【会 場】 関西大学千里山キャンパス関西大学会館 1 階プレスセンター

※ 撮影を希望される場合は下記までお申し込みください。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：伊地知、小林、明原

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1937 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp